

令和2年第1回 安芸太田町教育委員会議録

招 集 年 月 日	令和2年1月16日 (木)		
招 集 場 所	川・森・文化・交流センター3階 大会議室		
開 閉 会 日 時	開 会	令和2年1月16日 (木) 午後2時30分	
	閉 会	令和2年1月16日 (木) 午後3時15分	
出席・欠席委員	出席委員	二見吉康・清胤祐子・河野義文・池野博文	
	欠席委員	河本千絵	
職務により会議に出席した者	生涯学習課長	上田 隆	
	主幹	金升龍也	
	主幹	林 健太郎	
会議に付した事件及び採決結果	議案第1号	安芸太田町立図書館運営協議会委員の任命について	原案可決
報告協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 今後の行事予定について 2 服務規律の厳正確保について 3 令和元年度卒業式、令和2年度入学式の分担について 4 その他 		

【 議 事 録 】

日程第1 開会

(午後2時30分開会)

日程第2 教育長報告

教育長)

令和2年第1回目の教育委員会議ということで、あらためまして、みなさんおめでとうございます。よろしくお願いいたします。さて、先日放送で言ってましたが広島県をはじめ多くのところで初雪がまだであると。140年ぶりの初雪の遅さということだそうです。町内のスキー場は雪がないために、これに関係して大変大きな影響があるのではないかと危惧しております。学校ではインフルエンザの大流行もなく無事にスタートさせていただきました。今日はよろしくお願いいたします。

今日の議題はお手元のとおりでございます。議案、また報告協議で公開になじまないものがあれば後にしたいと思いますが、いかがいたしましょうか。

清胤委員)

議案第1号「安芸太田町立図書館運営協議会委員の任命について」は、人事に関する案件ですので、審議は非公開が適当ではないかと思えます。

教育長)

ほかにご意見ございませんか。

(ありません。)

それでは、清胤委員の発議につきまして採決をさせていただきます。議案第1号「安芸太田町立図書館運営協議会委員の任命について」は、公開をしないということに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員賛成と認めます。したがって、議案第1号は、公開をしないで審議することといたします。

日程第2 教育長報告

教育長)

では、このまま進めさせていただきます。

(以下の項目について報告)

1 12月～2月の学校等の状況

- ① 文部科学省 GIGA スクール実現推進本部 (12月19日) 文部科学省
- ② 安芸太田町プログラミング教育研修 (12月24日) 加計中
- ③ 町消防団 出初式 (令和2年1月12日) 戸河内ふれあいセンター
- ④ 令和2年安芸太田町成人式 (1月12日) 温井スプリングス

- ⑤ 第6回管内教育長会議（1月16日）芸北支所
- ⑥ 【予定】広島県市町教育長会議（1月22日）広島YMCA
- ⑦ 【予定】令和元年度立志式（1月25日）川森文化交流C
- ⑧ 【予定】令和元年度新しい学びプロジェクト研究報告会（2月8・9日）東京

2 文部科学省 GIGA スクール実現推進本部（12月19日）文部科学省について【再掲】
別紙資料による

3 令和2年度（2020）への対応

- ① 町内小・中学校のICT教育の充実
- ② 小学校英語活動・中学校英語教育の充実
- ③ 「知・徳・体」のバランスのとれた基礎基本の定着と学力向上を図る。

4 次年度の教職員人事等について

5 服務規律の徹底について

- ・交通事故の未然防止
- ・教職員による不祥事の未然防止

教育長）以上で報告を終わります。何かご質問等ありましたら、お願いします。

河野委員）

「GIGA」という言葉に慣れないところですが、教科書もそういう流れになるということでしたが、学校教育のことは学校に任せておけばいいというものもあるかもしれませんが、これまでは、家庭でも教科書で子どもと一緒に大したことはできないにしても勉強をみるということがありましたが、そういう機器を活用するのが学校でも家庭でも活用するという時代になってきているということを知ると、なかなかついていくのに大変だなと、私たちのような年代からするとそう感じさせてもらいました。

清胤委員）

同じような意見ですが、若いお母さん方も同じような意見を持たれていて、筒賀小学校の保護者の方は、授業参観に行ったらすべてタブレットなどを使った授業だったと。それは国の方針を受けてわが町では教育長さんのおかげで先端をいってますので、先生も張り切って最新の授業をされたと思います。保護者の方にとっては、自分たちもそういう授業を受けてないし、まさかタブレットだけの授業とは思っていなかったみたいで「知らなかった、そんなことは言ってもらってなかった」というご意見を聞いて、やはり国の方針を保護者会などで「これからはこういう時代なんですよ」というのをある程度説明されてもいいかなと思いました。保護者の方のご理解をいただかないと難しいなと思いました。

河野委員）

あまりにも急に形が変わっていくという気がして、どちらがいいのかわかりませんが、徐々にないので戸惑いがあります。

教育長）

国際学力テスト「PISA」というのがあります。先進国が学力調査をして、今回のテストで日本の子どもたちの読解力がこれまでの4位ぐらいから15位ぐらいまでに転落した

と。そのテストは一般のテストでなくてパソコンを見て答えていくんですね。ゲームをしたりユーチューブを見たりというようなことは、日本の子どもたちは簡単にやってしまうんですね。問題を見てそれをめくっていきながら、最後にそれを打ち込んで答えていくとか、選んでクリックするとか、そういうふうなことには非常に遅れていると。ある意味点数が悪かったのは、そのことに力がないのではなくてパソコン操作の遅れが点数に出ているのではないかという分析もあるんですね。もっと言えば、日本の子どもはパソコンやスマホを持っていても、それはゲームや音楽、動画を見たりということではしか使えなくて、学習で使うことができているということが逆だと思うんですね。大人になったら必ずコンピューターに慣れてないと仕事に就けない時代がもうすぐそこに来ているわけですから。そういう時代に対応できるという意味では、逃げられない話ですよ。自動車もコンピューターになってくるし。工場もロボットになるし。それが止まった時に動かすプログラムを調べることはわかっていないとできませんし。そうでなかったら、ロボットに命令を受けてする仕事しかなくなってくるんです。ロボットを扱える人間にならないといけない。

清胤委員)

今、教育長さんがおっしゃったことを保護者の方に説明してもらったら、そういう授業が大切なんだなど。ロボットに使われる身じゃなくて、器械を使いこなす国際的な人間に育っていかなくちゃいけないって自覚をしていただけるんじゃないかと思います。

河野委員)

パソコンなど進むと読めるけれど、字を忘れて書けなくなるという弊害があるよねというような話を雑談の中でしたことがあります。授業で書写などあるのでそういったことをうまい具合にバランスをとらないと今から大変だというような話をしました。

教育長)

今は検索サイトで調べれば、中身の正確さはどうかわかりませんがすぐに出てきます。昔は辞書や百科辞典などめくっていましたが、そんなことはいらなくなったんですね。何かの能力は廃れていきよるんだと思います。だけど、パソコンが使えないということの方が深刻な問題になってきているんですね。習字も残るでしょう、鉛筆で書くことも日本では。けれども時間は減ると思います。

池野委員)

いろいろ話はあるようですが、この前保護者に相談をされました。家に帰ってゲームばかりやっているのどうしたらいいだろうかと。私も子どもがそういう時代のころを考えると、昔からの課題ですね。今までの大人はこれまでの経験を伝えてということがありましたが、今は子どもも大人も一緒ですよ。同じ情報機器にさらされて惑わなければいけないというように。そういう点では大人から経験を伝えたり、子どもから尊敬される部分が少なくなっているという点で戸惑いもあるだろうと心配します。お聞きしたいことがあるんですが、安芸太田町は他に比べてICT機器を先進的に導入していますが、授業におけるメリットはどうでしょうか。

教育長)

交付税措置のときに一生懸命整備してきて、今回の国の補助を聞いたとき「待っておけばよかった」というのであれば、次を待つようになりますよね。それだけ物事は進まなくなる。そういうことがないように、国には継続的な財政支援を今回のように一斉にそろえるだけではなくて、すでにそろっているところは5年後には買い替えをしていかなければならなくな

る、そういうところまでを受け入れてやってくれということ京都でのICTの説明会に行った職員には言って来いと言っています。700万台のタブレットをそろえるということになると、1年間に250万台ぐらいそろえていかないと3年間の計画でいくと。本当にそろえることができるんだろうかというのと、経済的に端末は国産ないしは純国産で賄うと。外国製品は入れないということでした。そうしたらアップルや韓国、中国製は入らないわけです。それで同じ250万台がそろえるのかということです。日本のそういう産業ではおいしい話になってきます。問題は、県単位で一括購入するという発想なんです。広島県で例えば40万台を特定の機種で購入すると。そうすると、うちですでに購入している機種と違うとなればまた課題が出てくるんですね。そのあたりも聞いて来るように言いました。いろいろありますが、整備については課題意識を持って取り組みたいと思います。

日程第4 報告・協議

教育長)

今後の行事予定について生涯学習課からお願いします。

上田課長)

(今後の行事予定について説明)

河野委員)

青少年育成の関係で、立志式の講師は加計小、加計中出身者で現在医師をされています。ぜひ子どももですし、大人にも聞いてほしいと思いますので、参加を呼び掛けていただいたらと思います。

教育長)

ぜひ、筒賀地域出身の子どもたちに近い世代の先輩をまたご紹介ください。

池野委員)

わかりました。アンテナを張っておきます。

教育長)

それでは、報告協議2 服務規律の厳正確保についてお願いします。

林主幹)

(服務規律の厳正確保について説明)

清胤委員)

仏教では、善人と悪人がいるのではなくて、ご縁によって人は変わるという考えで、この資料にある先生にお会いしたことはないのだからわかりませんが、たまたまそういうのを見つけてしまって、それがご縁となってやってしまったんだと思います。先生方の研修会の時に、人間はご縁によってどんな風になるかわからないよという、そこの引き締めを、自分の立場で思いとどまるということが大事だと思います。そういう研修をされたらと思います。

教育長)

それでは、報告協議3 令和元年度卒業式、令和2年度入学式の分担についてお願いします。

林主幹)

(令和元年度卒業式、令和2年度入学式の分担について 調整)

日程第3 議事

教育長)

報告協議3を終わります。ほかに何かありますか。

それでは、後に回しました議案第1号「安芸太田町立図書館協議会委員の任命について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

(非公開により審議する。)

教育長)

日程4まで済みました。

以上で第1回教育委員会議事を終わります。ありがとうございました。

(午後3時15分 閉会)